



2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

コード番号 4739

URL <https://www.ctc-g.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 柘植 一郎

問合せ先責任者（役職名） 主計部長 （氏名） 森 敦司 (TEL) 03-6403-6000

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期純利益		当社株主に 帰属する 四半期純利益		四半期 包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	132,445	13.4	8,780	44.1	9,317	48.5	6,435	48.7	6,373	48.1	8,501	3.4
2023年3月期第1四半期	116,779	7.6	6,092	△20.5	6,275	△19.8	4,329	△19.8	4,303	△20.2	8,221	12.3

	基本的1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益		希薄化後1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第1四半期	27	58	27	58
2023年3月期第1四半期	18	62	18	62

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	株主資本合計	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	520,467	304,631	297,321	57.1
2023年3月期	528,045	305,600	298,651	56.6

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	40.50	—	40.50	81.00	
2024年3月期	—					
2024年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期純利益		当社株主に 帰属する 当期純利益		基本的1株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	625,000	9.5	58,000	24.8	58,500	24.7	40,500	19.9	40,000	16.9	173	10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	240,000,000株	2023年3月期	240,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	8,917,734株	2023年3月期	8,917,686株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	231,082,289株	2023年3月期1Q	231,074,262株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来の業績に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明資料、及び連結決算補足資料の入手方法）

本決算短信と同時に決算説明資料をTDnetで開示しております。また、当社ホームページには本資料の掲載に加え、連結決算補足資料も掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(追加情報)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融引締めや海外景気の下振れによる景気下押しのリスクがあるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかに回復しました。

情報サービス産業においては、昨年度に引き続き企業のIT投資意欲は高く、レガシーな基幹系システムの刷新や、クラウド利用を含めたDX関連の投資需要の増加がみられました。

このような状況下、当社グループでは、企業理念であるMission（使命）「明日を変えるITの可能性に挑み、夢のある豊かな社会の実現に貢献する。」を目指す姿とした、中期経営計画（2021年4月から2024年3月までの3か年）「Beyond the Horizons～その先の未来へ～」を掲げています。

基本方針とする

「Accelerate：これからの豊かさを創る」

「Expand：今の豊かさを広げる」

「Upgrade：実現可能性を高める」

を着実に実行し、2024年3月期の目標達成を目指すとともに、社会課題の解決に貢献してまいります。当第1四半期連結累計期間における具体的な取り組みは次のとおりです。

- ・生成AIの活用についてのコンサルティングサービス「生成AIアドバイザリサービス」を開始しました。生成AIの利用の検討から、既存システムとの連携、生成AIを含めたシステム構築、導入後の定着化まで、幅広い場面でお客様を支援するサービスです。また、生成AIを含めたAIの利活用に関する戦略及びサービス開発の検討などを進める体制として、AXタスクフォース（AX:AI Transformation）を当社内に設置しました。AI技術に対する正しい理解、有効な活用方法の研究、倫理面への配慮を推し進め、お客様のビジネスや社会での適切なAI活用の推進に努めていきます。

《Accelerate》

- ・量子コンピューティングの活用に向けたサービス「CUVIC for Quantum」の提供を開始しました。量子コンピューティングサービスに加えて、量子コンピュータ向けのアプリケーション、複数の量子コンピュータを束ねるクラウド型プラットフォームとマネージドサービス、人材教育サービスなどを包括的に提供していきます。

《Accelerate》

- ・企業の非財務情報やESGデータの提供サービスを手掛けるアスタミューゼ株式会社（以下、アスタミューゼ）と業務提携契約を締結し、金融機関の投融資業務を支援するデータ利活用サービスの開発に着手しました。本サービスは、アスタミューゼが保有する一般企業の非財務情報やESGデータを金融機関ごとに互換性の高いファイル形式に整えて配信するもので、機能拡充も図りながら金融機関のESG投融資をサポートしていきます。

《Accelerate》

- ・当社と伊藤忠メタルズ株式会社（以下、伊藤忠メタルズ）は、当社が開発した廃棄物処理の可視化プラットフォーム「StateEco（ステートエコ）」を活用し、廃棄家具の効率的な回収と経路最適化の実証実験を共同で開始しました。StateEcoは、廃棄物の回収から最終処理まで、リアルタイムに状態の確認ができるプラットフォームで、AIの活用により時間と費用の両面で最適な運搬経路を算出できます。本実証実験では、伊藤忠メタルズが提供する電子マニフェスト登録サービス「Smart.i∞（スマートアイ）」とのデータ連携も実施し、廃棄物処理における事務作業の効率化についても検証します。今後、実証実験の結果で得た知見と環境改善に繋がるデータを活用して、環境に配慮した物流プラットフォームを提供することを通じ、カーボンニュートラルに向けた社会経済の変革の実現を目指していきます。

《Accelerate》

- ・SAPジャパン株式会社が提供するERPソリューションのパブリッククラウド版「SAP S/4HANA Cloud, public edition」を、当社の基幹システム最適化ソリューション「Figues (フィグ)」のメニューに加えて提供を開始しました。Figuesは、基幹システムに手を加えることなく自社業務に最適な環境を整えるソリューション群です。今回の取り組みにより、ERPのバージョンアップの際の影響を少なく抑え、最新の機能をカスタマイズなしに利用することが可能になります。基幹システム導入から運用までの負担軽減を可能とするFiguesの提供を通じて、今後もお客様企業の業務の効率化やDXの推進に貢献していきます。

《Expand》

- ・シンガポールの当社グループ会社であるCTC Global Pte. Ltd. は、シンガポール国内で働きがいのある企業として順位づけられる「Singapore's Best Employers 2023」において、対象企業1,700社以上の中から54位^{※1}に選出されました。シンガポールの新聞The Straits TimesとグローバルなデータプラットフォームStatista GmbHが、社員の育成、企業のイメージ、就労環境、ダイバーシティなどの6項目を総合的に調査し順位付けしたものです。当社グループでは、健康と幸福を目指す「健幸経営」をはじめ人材への積極的な投資を行っており、引き続き国内外において、グローバルな視点での人材育成、多様性の尊重、ワークライフバランスの推進を図っていきます。

《Upgrade》

※1 昨年の順位は90位です。

営業活動につきましては、製造、運輸、情報サービスなど様々な分野向けのインフラ、開発、保守・運用案件に加え、海外事業案件などに注力しました。

当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。売上収益は、サービスビジネス、開発・SIビジネス及び製品ビジネスの全てにおいて増加し、132,445百万円（前年同期比13.4%増）となりました。営業利益につきましては、増収及び売上総利益率の改善により、8,780百万円（同44.1%増）となりました。また、営業利益の増加により税引前四半期利益は9,317百万円（同48.5%増）、四半期純利益は6,435百万円（同48.7%増）、当社株主に帰属する四半期純利益は6,373百万円（同48.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて7,578百万円減少し、520,467百万円となりました。これは、主にその他の流動資産が19,937百万円、棚卸資産が9,190百万円増加したものの、営業債権及びその他の債権が35,702百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて6,609百万円減少し、215,836百万円となりました。これは、主にその他の流動負債が20,675百万円、その他の金融負債が8,800百万円増加したものの、営業債務及びその他の債務が18,237百万円、従業員給付（流動負債）が9,919百万円、未払法人所得税が7,287百万円減少したことによるものであります。

資本は、前連結会計年度末に比べて969百万円減少し、304,631百万円となりました。これは、主に四半期純利益による増加が6,435百万円、その他の包括利益による増加が2,066百万円あったものの、剰余金の配当による減少が9,431百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、本日(2023年8月2日)開催の取締役会において、2024年3月期の配当予想につきまして、当社の親会社である伊藤忠商事株式会社の子会社による当社の普通株式に対する公開買付けが成立することを条件に、2023年4月28日の公表から修正し、中間配当、及び期末配当を行わない旨の決議をいたしました。

詳細につきましては、本日(2023年8月2日)公表の「2024年3月期配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、現時点においては、2023年4月28日に発表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2023年6月30日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	92,530	91,532
営業債権及びその他の債権	158,195	122,492
棚卸資産	55,683	64,873
当期税金資産	146	2,633
その他の金融資産	21,848	22,804
その他の流動資産	76,658	96,595
流動資産合計	405,060	400,930
非流動資産		
有形固定資産	47,255	47,003
のれん	4,956	5,203
無形資産	5,498	5,447
持分法で会計処理されている投資	8,413	8,314
その他の金融資産	45,029	44,507
繰延税金資産	9,079	6,167
その他の非流動資産	2,756	2,896
非流動資産合計	122,985	119,537
資産合計	528,045	520,467

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2023年6月30日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)
(負債及び資本の部)		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	66,688	48,452
その他の金融負債	14,990	23,790
未払法人所得税	7,845	559
従業員給付	25,965	16,046
引当金	1,364	1,537
その他の流動負債	66,162	86,837
流動負債合計	183,015	177,221
非流動負債		
長期金融負債	32,573	31,761
従業員給付	3,717	3,688
引当金	2,706	2,726
繰延税金負債	435	441
非流動負債合計	39,431	38,615
負債合計	222,446	215,836
資本		
資本金	21,764	21,764
資本剰余金	32,812	32,773
自己株式	△9,519	△9,519
利益剰余金	238,326	235,335
その他の資本の構成要素	15,269	16,969
株主資本合計	298,651	297,321
非支配持分	6,949	7,310
資本合計	305,600	304,631
負債及び資本合計	528,045	520,467

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)
売上収益	116,779	132,445
売上原価	△89,026	△99,660
売上総利益	27,753	32,784
その他の収益及び費用		
販売費及び一般管理費	△22,477	△24,550
その他の収益	833	572
その他の費用	△16	△26
その他の収益及び費用合計	△21,661	△24,004
営業利益	6,092	8,780
金融収益	319	513
金融費用	△311	△182
持分法による投資損益	174	206
税引前四半期利益	6,275	9,317
法人所得税	△1,946	△2,882
四半期純利益	4,329	6,435
四半期純利益の帰属：		
当社株主	4,303	6,373
非支配持分	26	62
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益：	(円)	(円)
基本的	18.62	27.58
希薄化後	18.62	27.58

要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)
四半期純利益	4,329	6,435
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動	1,645	△105
持分法適用会社に対する持分相当額	6	11
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,903	1,260
キャッシュ・フロー・ヘッジ	202	828
持分法適用会社に対する持分相当額	137	73
その他の包括利益(税効果控除後)合計	3,892	2,066
四半期包括利益	8,221	8,501
四半期包括利益の帰属:		
当社株主	7,638	8,074
非支配持分	582	427

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

区分	株主資本						
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	その他の包 括利益を通 じて測定す る金融資産 の公正価値 の純変動	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ
2022年4月1日	21,764	32,701	△9,535	225,273	1,462	9,006	472
四半期純利益	—	—	—	4,303	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	1,483	1,651	202
四半期包括利益	—	—	—	4,303	1,483	1,651	202
剰余金の配当	—	—	—	△11,561	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	15	—	—	—	—	—
非支配持分に付与された プット・オプション	—	△60	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△46	—	△11,561	—	—	—
2022年6月30日	21,764	32,655	△9,535	218,015	2,945	10,656	674

区分	株主資本	非支配持分	資本合計
	株主資本合計		
2022年4月1日	281,142	7,342	288,484
四半期純利益	4,303	26	4,329
その他の包括利益	3,335	557	3,892
四半期包括利益	7,638	582	8,221
剰余金の配当	△11,561	△63	△11,624
自己株式の取得	—	—	—
株式報酬取引	15	—	15
非支配持分に付与された プット・オプション	△60	—	△60
所有者との取引額等合計	△11,607	△63	△11,670
2022年6月30日	277,174	7,861	285,035

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

区分	株主資本						
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	その他の包 括利益を通 じて測定す る金融資産 の公正価値 の純変動	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ
2023年4月1日	21,764	32,812	△9,519	238,326	2,745	12,738	△215
四半期純利益	—	—	—	6,373	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	968	△95	828
四半期包括利益	—	—	—	6,373	968	△95	828
剰余金の配当	—	—	—	△9,365	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
株式報酬取引	—	20	—	—	—	—	—
非支配持分に付与された プット・オプション	—	△59	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△39	△0	△9,365	—	—	—
2023年6月30日	21,764	32,773	△9,519	235,335	3,713	12,644	613

区分	株主資本	非支配持分	資本合計
	株主資本合計		
2023年4月1日	298,651	6,949	305,600
四半期純利益	6,373	62	6,435
その他の包括利益	1,701	366	2,066
四半期包括利益	8,074	427	8,501
剰余金の配当	△9,365	△67	△9,431
自己株式の取得	△0	—	△0
株式報酬取引	20	—	20
非支配持分に付与された プット・オプション	△59	—	△59
所有者との取引額等合計	△9,404	△67	△9,470
2023年6月30日	297,321	7,310	304,631

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(伊藤忠商事株式会社の子会社による当社株式に対する公開買付けについて)

当社は、本日(2023年8月2日)開催の取締役会において、当社の親会社である伊藤忠商事株式会社の子会社による当社の普通株式に対する公開買付け(以下「本公開買付け」という。)に関し、賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様が本公開買付けに応募することを推奨する旨の決議をいたしました。

なお、当社の当該取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続を経て、当社を非公開化することを企図していること及び当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものであります。

詳細につきましては、本日(2023年8月2日)公表の「親会社である伊藤忠商事株式会社の子会社であるデジタルバリューチェーンパートナーズ合同会社による当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」をご参照ください。